

まちづくり通信



今回のテーマ:

受けて安心『がん検診』

問合せ 保健センター

☎0495-77-4041

FAX0495-77-0550

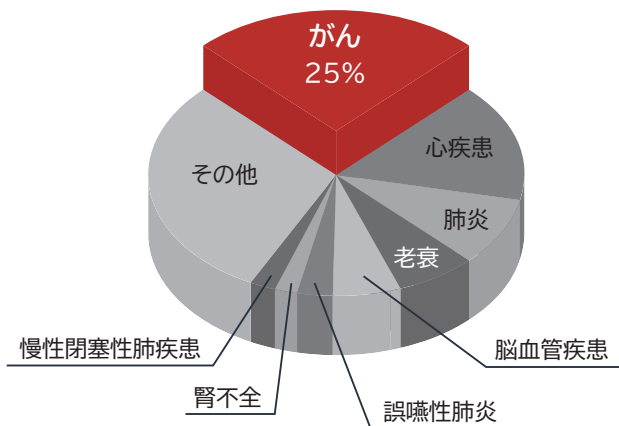
忙しい毎日を送って、自分のからだのことを後回しにしていますか？ がんになる可能性は誰にでもあります。「自覚症状がないから大丈夫」と考えるのはとても危険です。がんは症状が出てからでは遅いのです。「もしも」のために定期的にがん検診を受けましょう。

2人に1人ががんになっています

日本人が生涯でがんになる確率は約58%と非常に高い数値が出ています。なんと2人に1人ががんになっているのです。

また神川町全体の死亡者数のうち、がんが原因で亡くなった方は25%です。その中でも40歳から74歳の年齢に限定するとその率は1.4倍に上がり、34.8%になります。

がんは若い年代でもなり得る可能性があります。大腸がんや乳がんは40歳代から増え始めますし、子宮頸がんは20~30歳代から増加します。自分は若いからまだまだ大丈夫と油断はできません。



【神川町の死亡原因の内訳(2021)】

がん:25%、心疾患:16%、肺炎:9%、老衰:7%、
脳血管疾患:6%、誤嚥性肺炎:3%、腎不全:2%、
慢性閉塞性肺疾患:2%、その他:30%

早期発見が可能です

子宮頸がんは、町で実施しているがん検診の中で早期発見率が最も高いがんです。その確率は76%になります。また乳がんや大腸がんも高く、約60%の確率で早期発見されています。

がんは早期に発見することで生存率が上がり、治療も軽く済むことが多いです。検診や人間ドックでがんが発見されることが多く、定期的を受診することが早期発見のカギとなります。早期に発見し治療をすることで、5年後の生存率は90%以上になると言われています。

がんになることを防ぐことは難しいです。

しかし早期に発見することによって、がんを治療し克服することができます。

そのためにも**年1回**定期的ながん検診を受けましょう。

生活習慣病予防のための特定健診

特定健診とはメタボリックシンドロームや高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を早期発見し、対策に結びつけることを目的とした健康診断です。対象年齢は40歳以上で、加入している医療保険で受診できます。

町の国民健康保険や後期高齢者医療保険へ加入している方は、無料で特定健診を受診することができます。また、医療機関や日程を選択できる個別健診の期間は昨年度より4か月延び6月から2月まで受診できるようになりました。

生活習慣病の早期発見、予防につなげるために特定健診も年1回定期的に受診しましょう。

問合せ先	
神川町国民健康保険加入者	保険健康課 ☎ 0495-77-2113
後期高齢者医療保険加入者	
生活保護受給者	保健センター ☎ 0495-77-4041
その他医療保険加入者	加入している健康保険組合

今回のテーマに関するご意見をお寄せください

「まちづくり通信」をお読みいただきありがとうございます。今回取り上げたテーマについて、皆様からのご意見を募集します。下記のテーマを参考に、町民の皆さまの率直なご意見をお寄せいただきますよう、お願いいたします。意見の送付方法は下記の通りです。

【締切】
5/31(金)

①「まちづくり提案箱」に投函

【設置場所】

役場(本庁舎1階)/神泉総合支所/中央公民館/ふれあいセンター



②「電子申請」を利用して投稿

2次元バーコードを読み取り、「神川町電子申請・届出サービス」へアクセスしてください。



【まちづくり通信について】

月に一回の広報紙とは別に、テーマを絞り込んだまちづくり通信を町民の皆様に配布しています。広報では伝えきれない情報を伝え、また、毎号テーマごとに町民の皆様の意見を募集し、町政へ反映させることを目的としています。



<がん検診に関するご意見>

「かみかわまちづくり通信」
令和6年5月1日号

※お名前、年齢、性別についての記入は任意です。

お名前

年齢

性別

男・女

テーマ

【テーマの一例】

- 健康増進について
- がん検診・特定健診への要望

等